

隅田川の橋梁紹介



桜橋

台東区と墨田区の姉妹提携事業として1985年(昭和60年)に完成したX型の橋で、隅田川唯一の歩行者専用橋である。春には兩岸の隅田公園に見事な千本桜が咲き、たくさんのお花見客でにぎわいを見せる。
●竣工：昭和60年(鋼桁橋、橋長169.5m、幅員12m)



言問橋

橋名は、在原業平の『名にし負はばい言問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと』との歌に由来すると言われている。かつて、この橋の上流には「竹屋の渡し」、下流には「山の宿の渡し」と呼ばれた渡し舟があった。
●竣工：昭和3年(ガルバー式鋼桁橋、橋長236.8m、幅員22.0m)



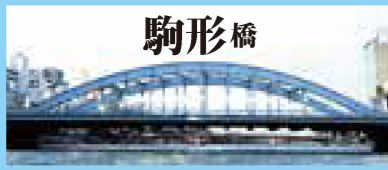
東武鉄橋

東武鉄道伊勢崎線(旧名)の押上から浅草までの路線を通すための橋として昭和6年(1931年)に完成。別名、花川戸鉄道橋とも呼ばれている。鉄道のみが通る橋だったが、2020年春に「すみだリバーウォーク」として歩行者通路が完成した。
●竣工：昭和6年(中流カンチレバーウォークラス橋 橋長166m)



吾妻橋

江戸時代に隅田川で架橋された最後の橋である(1774年/安永3年)。当初、大川橋と呼ばれていたが、1876年(明治9年)の架け替えの際に吾妻橋と改名された。
●竣工：昭和6年(鋼アーチ橋、橋長150.3m、幅員20.0m)



駒形橋

橋名は、西詰にある「駒形堂」に由来している。駒形堂は、浅草寺の本尊である観音像が、この辺りから引き上げられたことにより建てられたと言われている。かつては、この辺りに「駒形の渡し」と呼ばれた渡し舟があった。
●竣工：昭和2年(鋼アーチ橋、橋長146.3m、幅員22.0m)

隅田川・墨堤桜

2024

お花見

マップ

桜まつり

桜まつり

桜で巡る池波作品の舞台



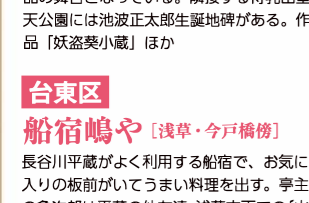
台東区

待乳山聖天 [浅草・聖天町]
隅田川河岸の小高い丘陵にある待乳山聖天。池波正太郎はこの山荘で誕生した。境内や門前の茶屋などは、たびたび池波作品の舞台となっている。隣接する待乳山聖天公園には池波正太郎生誕地碑がある。作品「妖盗英小蔵」ほか



台東区

山谷堀
遊里・新吉原へ送り迎えする船は、大川(隅田川)から山谷堀を渡って客を運んでいた。吉原通いに多く利用されたので山谷堀とも呼ばれた「猪牙舟」などが往きかっていた。現在は暗渠化された山谷堀公園となっている。



台東区

船宿嶋や [浅草・今戸橋傍]
長谷川平蔵がよく利用する船宿で、お気に入りの板前がいつでもまい料理を出す。亭主の亀次郎は平蔵の幼友達。浅草方面での(以盗改メ)の連絡所といったところである。作品「五年目の客」ほか



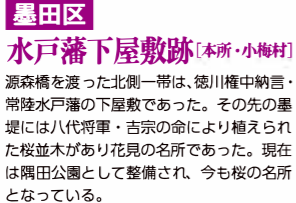
台東区

浅草寺
浅草寺の境内には池波作品に数多く登場する。鬼平犯科帳では、密偵・おまさが絵馬堂の前で、隠居した老盗賊・瀬首の小兵衛と出会い、相談を持ちかけられる。また、境内で掏摸の伊太郎が、陰謀師の山口天竜から懐中の物を持ち盗るのを平蔵が目撃する。作品「女賊」ほか



墨田区

枕橋 [源森橋] [本所・中ノ郷瓦町]
源森川が大川に入る川口に架かる橋。源兵衛橋ともい、後に枕橋といわれるようになった。橋の北詰には「蕎麦屋・さなだや」があり、平蔵がここで大盗賊・蛇(くちなわ)の平十郎と出会う。作品「蛇の眼」ほか



墨田区

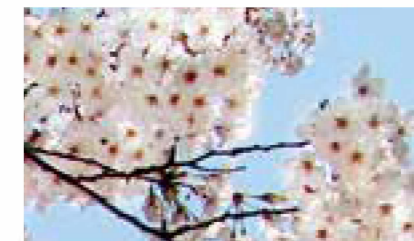
水戸藩下屋敷跡 [本所・小梅村]
源森橋を渡った北側一帯は、徳川権中納言・常陸水戸藩の下屋敷であった。その先の墨堤には八代将軍・吉宗の命により植えられた桜並木があり花見の名所であった。現在は隅田公園として整備され、今も桜の名所となっている。

発行：隅田公園オープンカフェ協議会・一般社団法人墨田区観光協会

お問い合わせ先

- 台東区役所公園課 ☎03-5246-1321 <https://www.city.taito.lg.jp>
公園課公式 X @taito_kouen https://twitter.com/taito_kouen
- 台東区役所観光課 ☎03-5246-1447
台東くん(X) @taito_kun https://twitter.com/taito_kun
TAITO おでかけナビ(ウェブサイト) <https://t-navi.city.taito.lg.jp>
- 墨田区役所道路公園課 ☎03-5608-6661 <https://www.city.sumida.lg.jp>
- 墨田区役所観光課 ☎03-5608-6500
- 墨田区観光協会 ☎03-6657-5160 <https://www.visit-sumida.jp>

墨堤の主なサクラ



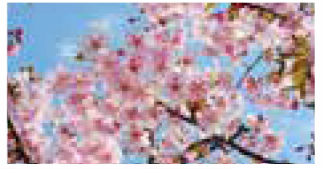
染井吉野 (そめいよしの) Somemiyoshino

エドヒガンとオオシマザクラの雑種で、江戸末期に江戸染井村(現在の東京都豊島区)の植木屋が、「吉野桜」の名前で売り出したと言われます。居ながらにして吉野山のサクラが楽しめると思われ、瞬く間に人気を得て、東京を中心に広く日本中に植えられました。春には圧巻なサクラの景色を楽しませてくれます。



大寒桜 (おおかんざくら) Ookanzakura

カンヒサクラとオオシマザクラの雑種で、お花見の直前に咲きます。



河津桜 (かわづくら) Kawazakura

オオシマザクラ系とカンヒザクラ系の自然交配種と推測されます。花はピンクの強い一重です。



紅枝垂 (べにしだれ) Benishidare

花の紅色が濃く、優美に咲く様子が好まれます。寿命が長く大本になります。



寒緋桜 (かんひざくら) Kanhizakura

中国南部や台湾に分布する桜です。花柄は下垂し花萼2cmばかりの半開状の暗紅紫色あるいは桃紅色の花をつけます。



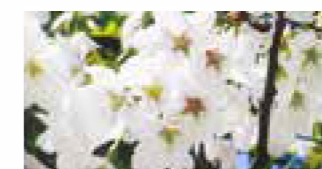
太白 (たいはく) Taihaku

台東区側言問橋南の土手で見られます。大輪で一重咲きの花が見事です。



陽光 (ようこう) Youkou

アマギヨシノとカンヒザクラを交配して作った品種です。花萼は約4.5cmで花色は淡紅紫色です。



大島桜 (おおしまざくら) Ooshimazakura

葉は塩漬けにするとサクラ特有の香りがあります。桜餅などに使われます。



アーコレード Accolade

花期は春とされていますが、日本では環境条件によるものか、春と秋(9~10月)の二季咲きです。



一葉 (いちよう) Ichiyou

雌しべが葉化し一枚の葉のようになるのでこの名がつけました。



雅 (みやび) Miyabi

皇后陛下にあやかり、埼玉県浦谷市生産者が当初プリンセスとして売り出しました。花は淡紅色で先のほうが色濃いです。



関山 (かんざん) Kanzan

大輪で濃紅紫色の花は塩漬けにして桜湯や、あんぱんのへそに使われます。



楊貴妃 (ようきひ) Youkichi

中国の代表的な美人楊貴妃を連想して名づけられました。花は淡紅色で先のほうが色濃いです。

桜を大切にしましょう。根元への立入り、枝折りはしないでください。